

ハイフィールド通信12月号

～今月の1分間学習～

円安

輸入

仕入れ価格が上がり
食品やエネルギー資源が高騰

輸出

同じ販売価格でも多くの利益を得られる
↓
海外市場での競争力が上がる

円高

輸入

海外製品や海外旅行の
価格が下がる

輸出

同じ価格だと利益が下がる
↓
値上げにより販売力が落ちる

今月の1分学習は、毎日のようにニュースで流れている「円安」についてです。現在は、1ドル≒148円となっています。バブル崩壊後の1991年以降、円高が進行し、1995年には1ドル=79.75円をつけました。この異常な円高に対し、1995年7月に日米が為替介入を実施した結果、1ドル=100円前後まで円安が進みました。円安が進むということは、ドルに交換するコストが高くなるということです。この辺りまでは皆さんも知っていると思いますが、では円安が進むとどのようなメリット・デメリットがあるかを述べることはできますか？また、円安を解消するためにはどのような対策が考えられるか分かりますか？タイムリーな時事問題だけに、入試やテストで問われることがあるかもしれません。これを機に、皆さんも是非この円安について考察してみてください！

定期テストに向けて

皆さん、第三回考査の準備はできていますか？テストは準備がすべてと言っても過言ではありません。毎回我々講師から言われていることかもしれませんが、改めてポイントを確認しましょう。

中学生の皆さんはテスト範囲の紙を受け取りましたよね？その紙は穴があくくらい読み込んでください。範囲だけでなく、教科担当の先生からの指示があるはずですよ。「英語の新出単語を覚えなさい」「数学のこの公式は書けるようにしなさい」などなど、勉強のヒントが沢山転がっていますよ。

高校生の皆さんは、日程をよく分析してください。4日間のテスト期間の内、休みを挟むのかどうか、苦手な科目は何日目にあるのかなどを把握し、それに合わせた学習計画を立てましょう。また、塾での授業も可能な限りテスト日程に合わせて柔軟に組み換えていくので、遠慮せずに相談してくださいね。